

岡崎汽船	日祥丸	十一月六日	繫船	一ヶ年迄一ヶ月分、以上一年を増す毎に四分の一増加、旅費十五圓
三寶汽船	明石丸	十一月十七日	繫船	一ヶ年迄一ヶ月分、以上一年を増す毎に四分の一増加、六年以上二ヶ月四分の一支給、旅費十圓
日本汽船	平南丸	十一月十八日	同	一ヶ年未満一ヶ月以上一年を増す毎に四分の一増加、旅費十五圓
加納汽船	扇海丸	十一月廿四日	同	各自に一ヶ月分と旅費十五圓及一人當り十圓の特別手當支給
森平汽船	泰世丸	十一月廿九日	同	残留者には本給の半分及食費現品支給下船者には一ヶ月四分の一及旅費實費支給
橘汽船	瓜哇丸	十二月三日	同	一ヶ年未満一ヶ月分旅費十四圓外に一人當り五圓支給
山本商店	双葉丸	十二月二日	同	各自に一ヶ月半旅費實費
飯野汽船	壽滿丸	十二月三十日	繫船	一ヶ年迄一ヶ月四分の一、二ヶ年迄一ヶ月半、旅費十圓支給
北樺太石油	おは丸	十二月三十日	冬季定期繫船	休航中繫船當番、待命者共月給の八割支給及待命者には往復の旅費十五圓、繫船當番には食料金十五圓支給
廣海汽船	廣通丸、廣安丸、廣速丸	十二月十五日	繫船	残留者には本給の半分支給外に一家族につき手當五圓支給下船者には一率に一ヶ月分及旅費支給但大部分残留す
森平汽船	泰和丸	十二月十九日	同	繫船中在船者には本給の半分及食費實費支給下船者には一ヶ月四分の一と旅費十二圓支給、但大部分残留す
東洋興業	笠戸丸	十二月十九日	同	一率に一ヶ月分と漁業手當一人當三十圓支給
原田汽船	慶運丸	十二月十五日	同	一年未満一ヶ月四分の一、以上一年を増す毎に四分の一増加旅費十三圓、外に金一封支給
日魯漁業	長光丸	十二月十日	定期繫船	協定通り支給
辰馬汽船	綾葉丸	十二月廿二日	繫船	全員を残留せしめ本給の半分支給下船者希望者は一ヶ月分と旅費十圓支給
神港汽船	神港丸	十二月廿九日	繫船	十圓支給、下船者には一ヶ年迄一ヶ月、以上一年を増す毎に四分の一を増加して支給及旅費八圓

○個人に關する重なる交渉

筒井汽船	日清丸	十二月十一日	同	全員を残留せしめ本給の三分の一及食料十圓支給
筒井汽船	喜多六丸	十二月廿六日	同	全員を残留せしめ本給の三分の一及食料十圓支給下船希望者には一年迄一ヶ月分以上一年を増す毎に四分の一を増加して支給
原商事	第七眞成丸	二月廿二日	繫船	全員を残留せしめ月給の半額及食料現品支給下船希望者には一率に一ヶ月分と旅費十圓支給
豊彦汽船	第三豊彦丸	二月廿四日	解體	一年未満一ヶ月三分の一分、以上一年を増す毎に四分の一増加旅費十三圓
酒井汽船	天正丸	一月十五日	繫船	全員を残留せしめ本給の半額食料十圓支給下船希望者には一ヶ月分と旅費十三圓支給
攝陽商船	綠川丸	三月十八日	同	解體手當として二ヶ月分及半期賞與金支給、缺員あり次第乗船の優先權を與ふ
釜石鑛山	勢徳丸	三月廿三日	解體	解體手當として二ヶ月分、勤続手當として二ヶ年未満半ヶ月、三年未満一ヶ月分、四年未満三ヶ月、十年以上三ヶ月半外に旅費十五圓及三ヶ月中の全給支給

國際汽船會社	西田徳峰	大福汽船會社長	澤山汽船商會	溝口岩松
攝津商船會社	森常吉	大家商會社長	第一東洋汽船會社	松浦島男
運天丸船會社	池内光治	愛國丸船會社長	共立汽船會社	三上吉郎
黒姫丸船會社	末吉石藏	桂汽船會社長	馬場合資會社	田中精治
栗林商船會社	田中次郎	桂丸船會社長	有明丸船會社	光中利吉
神丸船會社	加賀屋正治	千島丸船會社長	村尾丸船會社	田中利吉
帝國丸船會社		油丸船會社長	光靈丸船會社	北間利吉
海元丸船會社		長谷汽船會社長	神丸船會社	丸小野
大地汽船會社		長成丸船會社長	帝國丸船會社	丸小野
大越丸船會社			海元丸船會社	丸小野